

Yahoo!カーナビ、首都高速道路の一部料金所で開始された「ETC専用化」に対応し、ETC専用料金所を回避するルートが選択可能に

～ ETC非搭載車の誤進入を防ぎ、安全安心なドライブをサポート ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供するカーナビアプリ「Yahoo!カーナビ」（iOS版、Android版）は本日、首都高速道路の5カ所の料金所で開始された、既存の料金所を順次自動料金収受システム（ETC）専用にしていく「ETC専用化」に即時対応し、ETC専用料金所を回避するルートが設定できるようになりました。

これにより、最新の情報がルートに反映されることで、ETC非搭載車が誤ってETC専用料金所に進入することを未然に防止できます。



ETCの利用率は年々増加しており、2021年11月時点で、全国では93.6%、首都高速道路においては96.8%にも上っています（※1）。こうした背景を受け、国土交通省および高速道路会社6社は、2020年12月に「ETC専用化ロードマップ」を公表（※2）し、都市部は5年、地方部は10年程度での「ETC専用化」の概成を目指すとしており、まずは2022年4月1日までに計38カ所の料金所（※3）がETC専用になることが発表されています。

※1：国土交通省「ETCの利用状況」

※2：国土交通省 発表資料

※3：首都高速道路の29カ所に加え、NEXCO東日本・NEXCO中日本の計4カ所。

首都高速道路 発表資料

一方で、日本の自動車保有車両数は約8,000万台（※4）とされており、ETC非搭載車数が数パーセントであっても、「ETC専用化」は多くのユーザーに影響が生じると考えられます。

※4：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「令和3年11月末の自動車保有車両数月報」

「Yahoo!カーナビ」は、ETC非搭載車を含めたすべてのユーザーのスムーズかつ安全安心な移動をサポートすべく、本日3月1日からETC専用となった5カ所の料金所（一ツ橋、滝野川、浦和南（上）、晴海、安行）に対応しました。ユーザーは、「Yahoo!カーナビ」の設定で、「スマートIC利用」と「ETC利用」をオフにすることで、当該料金所を回避するルートが設定できます。

また、4月1日に「ETC専用化」が予定されている首都高速道路の29カ所の料金所に加え、NEXCO東日本とNEXCO中日本の計4カ所、さらには今後運用予定の「ETC専用化」にも順次対応する予定です。

なお、Yahoo! JAPANが提供する「Yahoo! MAP」（iOS版、Android版）の車のナビでも同様にETC専用料金所を回避するルートを設定することが可能です。

「情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。」をミッションに掲げるYahoo! JAPANが提供する「Yahoo!カーナビ」および「Yahoo! MAP」は、アプリの特性を生かして、変化する道路情報に即時対応などを行うことで、今後もユーザーの安全安心なドライブをサポートできるよう、さらなるサービス強化・改善に取り組んでいきます。

■本機能の使い方

初期状態では、ETCを利用する設定になっています。ETC専用料金所を回避するには以下の設定を行ってください。

<Yahoo!カーナビ>

1. 「Yahoo!カーナビ」を起動し、メニューボタンをタップ
2. 「アプリの設定」をタップ
3. 「スマートIC利用」と「ETC利用」の設定をオフに変更



<Yahoo! MAP>

1. 「Yahoo! MAP」 を起動し、目的地を入力してルート選択画面を開く
2. ルート選択画面で画面右上にある設定ボタンをタップ
3. 検索設定で「ルート検索オプション」をタップ
4. 「ETCを利用」の設定をオフに変更
5. 「この条件で再検索」をタップ

